



あの日あの時の記憶を忘れない...

大子町在住 (写真家) 高瀬 一仁

令和元年台風19号浸水被害記録展

【展示内容】

○写真展示

- ・大子町各地の浸水被害
- ・常陸大宮市 (旧山方町) の被害
- ・福島県矢祭町の被害
- ・第6久慈川橋梁の復旧の記録

○映像展示

- ・被災直前からの記録
- ・各地の被害状況スライドショー
- ・第6久慈川橋梁復旧工事とJR水郡線全線運転再開までの記録

大子ドレメ美術館
10月15日 (金) ~ 10月31日 (日)
※毎週水・木休館日



令和元年10月12日、台風19号は関東地方を直撃。線状降水帯が奥久慈地方を覆い、今までに経験したことのない豪雨となる。そして深夜久慈川が氾濫し広範囲に甚大な浸水被害を及ぼした。

台風19号から2年が過ぎようとしている。あの時の記憶を風化させないこと、そして今後の災害への防災へ繋がることを願い、記録した写真や動画を公開するに至る。

～プロフィール～

高瀬 一仁 (タカセ カズヒト)

趣味の写真を通じて奥久慈大子町の豊かな自然風景や、JR水郡線沿線の美しい鉄道風景を記録する事がライフワーク。地元のJR水郡線を心から愛し継続して記録すると共に、環境や自然保護に以前から関心があり、近年ホテルの生息調査と保護活動を始めた。SNS等を活用し、奥久慈の自然そしてJR水郡線の魅力を発信し続けている。

台風19号では実家が床上浸水し自家用車も全損。長期間復旧作業に当たる中で、ゴミの搬入時や知人宅を見舞った際に記録した写真や動画を公開する。

現在、町と茨城大学と原電の連携で行われている「令和元年東日本台風災害記録集作成業務」、「災害・地域レジリエンス向上のためのボトムアップアプローチ対話による環境共創とまちづくりのためのアクションリサーチ」のプロジェクトに、写真と映像の提供等で携わっている。

— 略 歴 —

茨城県立緑岡高等学校・茨城大学教育学部卒。旧総和町（現古河市）の中学校で3年間勤務後、地元の大子町小中学校で教壇に立つ。専門は理科。

- ・奥久慈大子フォトコンテスト (2017年～2019年他) 入選/農の営みフォトコンテスト (関東農政局) 他入選
- ・2020年4月 茨城新聞紙上フォトコンテスト最優秀賞他/2020年度 矢祭町の風景フォトコンテスト金賞
- ・2021年 大子町・茨城大学人文社会科学部・原電連携プロジェクトに携わっている。

大子ドレメ美術館

住所

茨城県久慈郡大子町大字大子 795-2
(駅前駐車場、近隣公共施設をご利用ください)

お問い合わせ

Facebook：大子ドレメ美術館

